

農地賃貸借の現状と問題点

平川 一郎 (福岡県農業試験場)

HIRAKAWA, I.: An Agricultural Land Lease in Fukuoka Prefecture

戦後の日本農政の中で土地問題は重要な位置を占めている。基本法農政の中で個別的な規模拡大が意図され、それが困難となるなかで、生産組織そして地域農政、利用増進事業と展開してきた。農地の流動化には売買によるものと賃貸借によるものがあるが、前者は農業委員会の記録を利用することにより比較的容易にその実態をおさえることができる。しかし賃貸借は農地法や、税金に対する思惑もあり、その実態はわかりにくくセンサスにおいても貸地と借地の数字は大きく異っており、信頼しえない状況である。

農地の賃借は兼業化の進展、土地基盤整備の状況、商業的農業の発展段階などによって異なると考えられる。福岡県下の異なる地域条件をもつ3集落を対象として、悉皆調査を行ないその現状と問題点を明らかにしたい。

調査結果にはいる前に福岡県下の農用地利用増進事業の実態について若干の検討を行なう。1980年度には30市町村で実施されており、実施面積は県下の水田の約1%である。地域的傾向をみると福岡市近郊でその割合が高く、筑豊や、豊前地域で低くなっており、主として戦前の区画整理や、基盤整備の進行が大きく影響していると考えられる。借り手の性格をみると73%のものが40a以下であり、100a以上の借り手はわずかに3.2%、37戸である。大部分が借地農としての展開でなく、耕耘しえないものを頼まれたという形であろう。

調査対象としたN集落は筑後平野のクリーク地帯の北端に位置し、イグサ、イチゴなどの栽培の盛んな地域である。兼業条件としては零細な地場産業の多い地域である。この集落の特徴は集落の全耕地の基盤整備が終了していることである。利用増進事業は実施していないが、農協による受委託の斡旋と再受託組織が存在している。

次にH集落は福岡市の西側に位置し一応通勤可能であるが農業の盛んな地域である。大正時代に区画整理が行なわれているが、農道がせまく、海岸に近い排水の悪い地域である。町としては専業農家も多く、規模も大きく、利用増進事業も盛んで1ha以上の借り手が、21戸あり、借り手の約2割を占めるという特徴がある。

K集落は有明海に面した工業都市にあり、市街化農地も持っている。都市近郊の農業の展開より兼業化が進行した地域であり、酪農、養豚などの専業農家がわずかに存在している。明治以降土地改良は行われておらず、区

画もせまく、農道のないほ場もかなり含まれている。また山間の水田は湿田であり、川沿いの水田はすぐ冠水するというので、土地改良に対する要求も多い。市の利用増進事業では1ha以上の借り入れはわずか2戸であり、事業実施面積も相対的に少ない市である。

筑後平野のN集落は57戸中16戸が専業安定農家であり、イチゴを中心としてイグサ、鶏などがはいつている。2兼安定農家は12戸あり、委託や老人婦人農家も12戸である。この集落は基盤整備によって作業が容易になっており、しっかりした再受託組織も存在するため、土地の賃借は少なく、作業委託という形が多く、主な機械作業は全部委託するという形態も多い。量的には集落全体の経営面積57.5haのうちヤミ小作を含めて7haに達している。

H集落は47戸中専業が7戸であり、イチゴなどの施設園芸が中心である。2兼安定は13戸あり、委託及び婦人老人農家は19戸に達している。賃貸借は集落全体の経営面積5,215aのうち843aにも達しており、ほかに部分作業委託は936aになっている。

K集落は34戸であるが、専業はわずかに4戸で、畜産やイチゴである。2兼安定は21戸に達しており、婦人老人や委託農家は6戸である。兼業化は激しくすすんでいるが、農地の賃貸借は少なく、集落全体の経営面積2,494aのうち175aであり、作業委託も348aにすぎない。

以上のように農地の賃貸借に対して基盤整備は大きな影響を与えており、必ずしも戦後の基盤整備ほどは必要としないが、一応の区画の大きさがあり、農道がついていることが条件である。K集落では貸したいほ場と借りたいほ場は別であり、農道が大きな意味をもっている。

担い手の存在も大きく、商業的農業を展開してきた専業農家では状況の変化に応じて、経営の一部門として、借地をとり入れる形態が考えられるのである。

兼業化の進展も影響しており、安定兼業かどうかによって、賃貸借が部分作業委託に分れてくると考えられる。この点については労賃も影響しており、H集落は労賃が高く、N集落は低く、このことが農地流動化の形態に影響を与えている。

なおK集落では、荒地、山林化が目立っており、農道のないほ場は、農地から放棄されることを示している。